

白馬村における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末 時点の活用率
活用額	34,163,248円	8,790,388円	42,953,636円	90%
譲与額	37,807,000円	10,031,000円	47,838,000円	

■令和7年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	森林経営管理制度 による森林整備	2,904,000	2,904,000	内山地区の地権者と締結した森林整備協定に基づき、対象区域13.64haのうち、3.78haの保育間伐及び枯損木伐採をしました。
	森林病虫害等の対策	1,848,027	1,848,027	住宅地や道路周辺でのナラ枯れ被害拡大防止のため、被害木の伐倒やくん蒸処理を行いました。
	森林GISシステム	517,000	514,078	林地台帳管理システムの保守委託を行いました。
	森林遊歩道整備	2,372,700	2,372,700	二酸化炭素の吸収を目的とした環境整備として、木流川遊歩道への植栽等を行いました。
木材利用	薪ストーブ購入補助	700,000	700,000	木質バイオマス利用推進として薪ストーブの購入補助を行いました。
	公共施設の備品整備	451,583	451,583	ナラ枯れ枯損木を活用し、役場庁舎フロアのベンチの製作をしました。
基金積立		1,240,612	1,240,612	森林整備基金積立金
合計		10,033,922	10,031,000	